

8月は人権強調月間〜考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心〜

8月は人権強調月間です。人権について考えるきっかけとして、松本隆博さんから「家族の絆」について寄稿していただきました。この機会に、皆さんも人権について考えてみましょう。◆問い合わせ 人権啓発課(八幡市人権・交流センター) ☎981・3127

松本隆博



まつもと・たかひろ 社会貢献的エンターティナー、シンガーソングライター、ダウンタウン松本人志さんの兄

家族の絆

このたび、八幡市の皆さまに「家族の絆」をテーマに書かせていただくこと、誠に光栄です。全国年間200回の講演イベントをさせていだいておりまして、そこでよく披露している事柄を主体に書かせて頂きます。僕は今52歳です。そんなおっさんの僕でも(いやいくつになっても親は親ですね)親を思い語り歌にすることで当時を思い出し涙します。それが会場で見聴いていただいた観客の皆さまに伝わると幸いです。

〜あらためていま母を思う〜

我が家は貧乏な家でした。雨漏りはし、床にも穴が開いていました。そんな中でも母の気丈さ、破天荒な性格のお陰で貧乏をそんなに感じないで過ごす事ができました。

僕の楽曲「お母ちゃんの言うとおりに」でも「貧乏でも笑って笑って」と歌っています。幼い頃の思い出で、母が作る竹輪の天ぷらがありま

ドキしながら食卓を楽しむ事ができました。いわゆる母の「貧乏をエンターテイメントする」パフォーマンスで、貧乏を感じないで育つ事ができました。また僕が中学生の頃。友達から自慢されたすき焼きを母にねだり、お金が足りなかつた母は工夫して鶏肉のすき焼きを作ってくれました。そんな母の愛情を知らず僕は「あほー！これはすき焼き違うー！こんな食えるか！」と母を初めて怒

鳴って母を初めて泣かせてしまいました。この話は僕が大人になってすっかり忘れてる時に母からポロッと笑いながら聞かれました。母はこの事をずっと覚えていたのです。でも母は「もっと裕福な家だったらよかったゴメン」と覚えていたのです。この話を聞いた時の僕は40歳くらいの頃で、僕より年下の時の母の話です。そんな必死で子育てしてくれてた思いに「ゴメンね……でもありがとう」と母に言いました。

「すき焼き」という曲。この曲は誰にだってある、親を悲しませたり怒らせた。その時はむかつくことも多いけれど月日が経てば「すき焼き」という曲。家族の絆を語る時、よく「家族の感謝には長い時間軸があります」と言います。それはこの「すき焼き」でも伝えている事なのですが、小さいときに親の気持ちがわからなくても、自分が大人になって「あーあの時申し訳なかったなあ」とか気が付き、要するに長い時間軸を経て感謝が変わったりします。特に、自分が同じように子供を持つたりすると、その子供が同じように自分が昔、親にした事を知

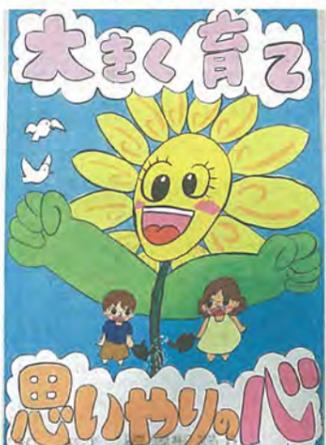
「あー悪かったなあ」とか「今思えば感謝だな」とか……親子のつながりって、感謝の時間軸は長いところにある。「すき焼き」の歌詞をぜひ読んで欲しいです。

「すき焼き」の歌詞をぜひ読んで欲しいです。

「すき焼き」の歌詞をぜひ読んで欲しいです。

その時にこの話を思い出して欲しいのです。子供への愛情は今もなかなかわかってもらえない事でも、どんな事でも子供を信じていつかはわかってもらえる」と信じて子育て続けて欲しい、必ずやわかってもらえる日が来ます。そう……家族の絆は時にはながい時間軸が必要なんです。

第17回八幡市小・中学生人権啓発ポスターコンクールの作品を募集! 人権強調月間に合わせた取り組みとして、『人権』をテーマにしたポスターを募集します。応募作品は審査を行い、入賞作品は、人権啓発活動に使用します。対象 市内在学の小・中学生 応募先 在学中の学校 締め切り 9月2日(月) ※作品は、画用紙4切サイズで色の指定なし。標語的な言葉を入れること。◆問い合わせ 社会教育課 0110-



昨年の市長賞の大里真由さんの作品

「すき焼き」 作詞作曲：松本隆博

親戚が集まり昔話に花が咲く 母が「そう言えば……」とある話を切り出した 笑い話にしなさいといけなから 少しはにかみながら、すき焼きの話をした 鶏肉のすき焼きの話

中学生の頃育ち盛りの僕は 友達からすき焼きなるものの話を聞き 急いで家に帰り母に「今日の夕食は 絶対にすき焼きにして」と、言い放った すき焼き、すき焼きとはしゃいだ

「よっしゃわかった」と母は言った 夕食は思い通りすき焼きだった 豆腐、しらたき、ねぎ、そして……鶏肉 僕は怒った泣きながらこれはすき焼き違う こんなもん喰えるか！って 母を睨みつけ怒鳴った

そんな事あったって僕は少しとぼけて 「仕方ないよ、鶏肉は」とりにくい。」なんて笑わせて 面白話で終わろうとしたけれど、少し聞きたくなくなった 母は何故覚えていたのかこの鶏肉のすき焼きの話

母が覚えていた訳は 母は僕に本当のすき焼きを食べさせたくて あげたくてあげたくてあげたくて、でも お金が足りなくて思いついた、鶏肉のすき焼き 部屋を飛び出した僕の背中に、「ほんとゴメンね 夕食の願い一つくらい叶えられないのか……」 鶏肉のすき焼きの話は

母が初めて息子に怒鳴られた話 母が初めて息子に隠れて泣いた話 ずっと母に、刺さっていた

最近偶然見た料理番組 なんと同じ鶏肉のすき焼き レポーターは、「超美味しいヘルシーお肌プルプルリーズナブル」 牛肉より旨いのか!?

会社の宴会で行った食べ放題のすき焼き でもみんな話に夢中、煮詰まってこびりついた もうこれ以上食べれないや牛肉のすき焼き 火が消えて油が白くなってそして誰も手を付けず ちじこまったすき焼き、これからも思い出すんだろうなー

母が初めて息子に怒鳴られた話 母が初めて息子に隠れて泣いた話 母が初めて息子に怒鳴られた話 母が初めて息子に隠れて泣いた話 母が初めて息子に怒鳴られた話 母が初めてこんな親でゴメンと思った話

僕が初めて母を傷つけた話 今までゴメンね……でも ありがとう 鶏肉のすき焼きの話

※この「すき焼き」はユーチューブでも公開されています。ぜひ見てください。 「松本隆博 すき焼き」で検索